

人権特設相談所

日常生活や身の回りの人権問題について、人権擁護委員が相談を受けます。相談は無料で、秘密は厳守します。

- 日時／1月19日(木) 13:00~16:00
- 場所／金屋文化保健センター 応接室

電話による人権相談窓口

みんなの人権 110 番 (さまざまな人権問題)

☎ 0570-003-110

女性の人権ホットライン(家庭内暴力など女性の人権問題)

☎ 0570-070-810

こどもの人権 110 番(いじめ・虐待など子どもの人権問題)

☎ 0120-007-110

考えてみませんか、私の人権、あなたの人権。

人権だより

有田川町教育委員会 社会教育課

電話 22-4513

ファクス 32-4827

「人権機関有田川」の活動を通じて

11月に人権映画会「こんな夜更けにバナナかよ」が開催されました。

幼少から難病の筋ジストロフィーを患い、体で動かせるのは首と手だけの主人公が、介助なしでは生きられない車いす生活にもかかわらず、病院を飛び出し介助ボランティアたちとともに自立生活を送っていくという、実話をもとにした物語です。彼らが過ごしていく中に、さまざまな笑いや葛藤、感動が織り交ぜられており、とても深い内容だと思えました。同じ病気を患ったとしても、一人ひとりの症状、生活環境、考え方の違いなどがあり、これは病気だけに限らず、他のことでも同じなのではないかと思えます。

去年4月から「人権機関有田川」の委員の一員となり「人権とは？」と考える機会が多くなりましたが「人としての権利、誰もが平等に持っている権利」といまだに大まかな答えしか出てこず、すごく奥が深いテーマだと感じています。口にすることは簡単でも実行することは難しく、相手がいればなおのことだと思えます。

小学生のころに先生から「人の話は最後まで聞いてから自分の意見を言う」「一度口に出したことは取り消せないのよ、よく考えてから言うように」と教わりました。

「自分」ではなく「相手」のことを思う気持ちを、みんなが優先できる世の中になれば、争いことも減り、助けが必要な人に自然と寄り添うことができるとは思えないかと思うとともに、そのような世の中になることを願います。

人権機関有田川 松本まゆみ

人権啓発標語の優秀作品

今年度は「幸せ」をテーマに募集したところ、939作品が集まりました。たくさんのご応募ありがとうございました。うございました。

優秀作品を紹介します。(敬称略)

小学生の部

●最優秀賞

ぼくの笑顔世界にとどけ

平和のねがい

八幡小学校 4年 山平 凌矢

●優秀賞

日常のなにげない日々宝物

藤並小学校 6年 栗栖ひまり

●優秀賞

戦争のこわさを学んだ今の僕

家族一緒でうれしいな

田殿小学校 4年 川嶋宗大

中学生の部

●最優秀賞

届けよう笑顔のエネルギーと世界の輪

吉備中学校 2年 原井智矢

●優秀賞

気づこうよ普通に過ごせる

それが「幸せ」

吉備中学校 2年 江川好香

●優秀賞

私からあなたへつなぐ笑顔のバトン

八幡中学校 1年 合田果叶

一般の部

●最優秀賞

さしのべるその手が幸せつかんてる

林幸男(吉見)

●優秀賞

幸せです 言った言葉が幸せ招く

中林政道(二川)